

WEEKLY SIGNAL

平成28年7月8日(金) 1331号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

|        | 7/11 (月)  | 7/12 (火)  | 7/13 (水)      | 7/14 (木)  | 7/15 (金)                                       |
|--------|---|---|---------------|---|--|
| 無担保O/N | △0.086% ~ 0.000%                                |   |               |   |  |
| 銀行券    | + 1,100   | + 1,000   | ト ン           | △ 1,000   | △ 2,000  |
| 財政他    | △ 60,300  | + 1,000   | △ 17,000      | △ 8,000   | △ 11,000                                       |
| 資金需給   | 不 59,200  | 余 2,000   | 不 17,000      | 不 9,000   | 不 13,000                                       |
| 主要要因   | 国庫短期証券<br>発行・償還(3・6M)                           |   | 源泉税揚げ         | 国債発行(30年)   | 国債発行・償還(2年)                                    |
| オペ期日   | 共通担保(全店) △ 4,100<br>CP等買入 △ 600<br>国債補充供給 + 200 |   |               |   |  |
| オペスタート | 共通担保(全店) + 2,700<br>ETF買入 + 100                 | 短国買入 + 30,000<br>国債買入 + 11,400<br>CP等買入 + 3,500                 |               |   |  |
| (日本)   | 機械受注(5月)<br>マネーストック(6月)                         | 企業物価指数(6月)<br>日本銀行が保有する国債の<br>銘柄別残高<br>日本銀行による国庫短期<br>証券の銘柄別買入額 | マネタリーサーベイ(5月) |   | 日銀金融政策決定会合<br>議事録等公表(2006年1-6月分)               |
| (海外)   | 米 カンザスティー連銀総裁講演<br>米 労働市場情勢指数(6月)               | 米 セントルイス連銀総裁講演  | 米 ベーレジブック     | 米 新規失業保険申請件数<br>(9日終了週)<br>米 カンザスティー連銀総裁講演<br>英 BOE金融政策発表 | 米 小売売上高(6月)<br>米 消費者物価指数(6月)<br>米 セントルイス連銀総裁講演 |

【インターバンク市場】

| 無担保ターム物 | 予想レンジ         |
|---------|---------------|
| SPOT 1M | △0.06 ~ 0.000 |
| SPOT 2M | △0.06 ~ 0.000 |
| SPOT 3M | △0.06 ~ 0.000 |
| SPOT 6M | △0.06 ~ 0.000 |

<インターバンク>

今週の日銀当座預金残高は週初、税・保険揚げを主因に先週末対比3兆5,100億円減少の、300兆7,700億円から始まった。その後は短国・国債買入オペ等により増加し、週末は304兆9,100億円となった。  
無担保コールON物は△0.07~△0.03%のレンジで取引された。積み期後半に入り、調達意欲が強まったこともあり、同加重平均金利は先週(△0.064~△0.058%)と比べ上昇し、△0.057~△0.053%で推移した。  
ターム物は1W~1M物で△0.06~△0.03%の取引が散見された。  
債券市場では、世界経済の先行きに対する警戒感から、比較的 안전한資産とされる日本国債を買う動きが広がり、国債利回りが低下した。6日には20年物国債利回りが△0.005%まで低下し、初のマイナスとなった。8日には10年物国債利回りが一時△0.30%まで低下し、過去最低を更新した。  
来週の予定は、海外ではベーレジブック(13日)、BOE金融政策発表(14日)、6月の米消費者物価指数(15日)がある。

【オープン市場】

|            |                 |
|------------|-----------------|
| CP3M(a-1+) | 0.000 ~ 0.005   |
| TDB 3M     | △0.350 ~ △0.250 |
| 現先(on/1w)  | △0.100 ~ 0.000  |

<CP>

今週の入札発行額は約5,500億円で、期落ち額約5,700億円(金融機関・ABCP除く)と同程度であった。カード会社の継続発行がなかったが、鉄鋼や電気機器の大型案件で補われた。  
a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.0010%割れで推移した。  
現先レートの中心は、-0.100%~0.000%程度で推移した。  
来週の期落ち額は3,800億円程度となっている。

<TDB>

7日に国庫短期証券3M第619回債の入札が行われたが、最高落札レートはそれぞれ△0.3032%(前回債△0.2905%)、平均落札レートは△0.3234%(同△0.2957%)と前回債と比べて利回りは低下した。セカンダリーは3Mで△0.30%近辺の地合いとなっている。6Mは△0.395%近辺の地合い、1Yは△0.35%近辺の地合いであった。来週14日に3M、15日に1Yの入札が予定されている。

<レポ>

足許GCは週初△0.085%~△0.095%近辺での出合い、週末までは同水準で推移した。短国6M・3Mの発行日である11日受渡ではレートが上昇、△0.05%~△0.06%のレベルで大きく出合った。週末には短国・国債買入れオペが計4兆1350億円オファーされ、レート水準は若干の低下。△0.07%~△0.08%での出合いとなり越週した。  
SC取引では、5年128回債が週を通して概ね△0.50%~△0.60%近辺で取引された。10年343回債は6日受渡して△0.20%台半ばの出合いが見られたが、リオープン発行後は引き合いは殆ど見られなかった。その他には2年364・365回債、5年127回債、10年336・341・342回債、20年157回債、30年49・50・51回債等に引き合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。